

通常  
上映

# インド映画特集

図書館収蔵のインド映画の上映



通常  
上映

# インド映画特集

図書館収蔵のインド映画の上映



私はガンディーを殺していない

会期: 12月1日(土)～12月24日(月・休) ※休館日・休映日除く  
観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。  
※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの発券は上映の1時間前からです。)  
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保証などの提示が必要です。)  
※「わの会」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

6(木) 14:00 / 8(土) 14:00

## 神の戯れ *The Play of God*

南インド。ケーララ州の民族芸能テイヤムのダンサー、ペルマラヤンは領主の娘ターマラに一目ぼれし、二人は結婚する。テイヤムの仲間であるパニヤンは友人を装いながら実はペルマラヤンを憎んでおり、ターマラが不貞を働いている妄想をペルマラヤンに植え付けていく。愛するがゆえに裏切りを許せないペルマラヤンは、ターマラを殺害してしまう。

シェクスピアの「オセロ」を下敷きにした作品で、民俗芸能テイヤムの世界で物語は展開する。テイヤムの過激なダンスがきちんと描かれていることも本作の特徴。主演のスレーシュ・ゴービは娯楽映画の大スターだが、本作により一躍演技派俳優として高く評価された。緊迫感ある見事な傑作である。



監督: ジャヤラージ  
出演: スレーシュ・ゴービ マンジュ・ワーリヤル  
1997年/35ミリ/カラー/128分/インド/日本語・英語字幕付き

1(土) 14:00 / 9(日) 14:00

途中5分の休憩あり

## 詐欺師 *Shree 420*

ラーजूは職を求めて大都会ボンベイにやって来る。ラーजूは金持ちの女性マーヤーと知り合うが、いかさま賭博の仲間に使われてしまう。あっという間に金持ちになるラーजूだが、彼が好きだった女教師のヴィディヤーは墮落したラーजूから去っていく。主演のラージ・カプールは当時的大スター。チャップリンを思わせる出で立ちなどコメディ的な要素も多く、50年代インド映画の代表作として知られている傑作。



監督: ラージ・カプール  
出演: ラージ・カプール ナルギス  
1955年/35ミリ/モノクロ/171分  
インド/日本語字幕付き

1(土) 11:00 / 12(水) 14:00

## 大地のうた *Pather Panchali*

ベンガル地方の村。少年オプーの父親ホリホルは最上位カーストのバラモンだったが、収入は低く生活は苦しかった。家にはホリホルの親戚の老女インディルが同居していたが、ある日家族との諍いで家出し死んでしまう。インド映画の世界的巨匠サタジット・レイのデビュー作。当時のインドでは歌も踊りもない映画がヒットするなど稀有の事であった。世界中で上映されインド映画を世界に知らしめた傑作である。



監督: サタジット・レイ  
出演: シュビル・パナルジー ウマ・ダーシュグプト  
1955年/35ミリ/モノクロ/125分  
インド/日本語字幕付き

2(日) 14:00 / 7(金) 14:00

## 紙の花 *Paper Flower*

1930年代。ボンベイの人気監督スレーシュは次作のヒロインを探していた。ある日スレーシュはシャーンティという女性と知り合い、次作のヒロインは彼女だと決断する。そして二人は次第に惹かれあっていく。50年代インド映画界の代表的監督として評価されているグル・ダットの代表作。スレーシュをグル・ダット自身が演じており、本作はグル・ダット監督の自伝的作品と言われている。



監督: グル・ダット  
出演: グル・ダット ワヒーダー・ラフマーン  
1959年/35ミリ/モノクロ/149分  
インド/日本語字幕付き

5(水) 14:00 / 8(土) 11:00

## サーカス *The Circus Tent*

サーカスの一座が南インド・ケーララ州の田舎の村にやって来る。役所に手続きをしてテントを建て、宣伝のために村を練り歩く。自転車の曲乗りや動物の芸などある。子供たちは驚きと歓喜の表情を浮かべる。アラヴィンダン監督はもともとこの作品をドキュメンタリーとして企画していたが、最終的には簡単な物語を含んだドキュメンタリーとなった。何気ないスケッチのような描写に、詩情が溢れる。



監督: アラヴィンダン  
出演: ゴービ ヴェヌ  
1978年/35ミリ/モノクロ/130分  
インド/日本語字幕付き

5(水) 11:00 / 15(土) 14:00

## モノローグ *Monologue*

孤児のアジャヤンは人格者の医者息子として育てられる。運動でも勉強でもずばぬけた成績を示すアジャヤンは次第にみんなに疎まれていく。大学で自分の殻に閉じこもるアジャヤンをいやすのは美しい兄嫁だった。物語はアジャヤンの独白で進行するが、自分を見つめなおすアジャヤンの話はその都度変化していく。知的な構成の作品で、監督は黒澤明監督の「羅生門」が本作のヒントであると語っている。



監督: アドゥール・ゴーパーラクリシュナン  
出演: アショーカン ショーバナ  
1987年/35ミリ/カラー/126分  
インド/日本語・英語字幕付き

9(日) 11:00 / 21(金) 11:00

## ぼくの家出 *Shelter*

ヴィスは8歳の少年。彼の両親は教育熱心で、勉強に疲れたヴィスは学校に行くのが嫌になる。そしてある日ヴィスは家出し、田舎の祖父の家に向かう。インドのケーララ州は教育水準の高い州であり、映画に登場するヴィスの親は珍しくない。ヴィスは家出することで様々なことを学ぶ。過度な教育熱の中で忘れられているものを優しく描いた作品。



監督: シヴァン  
出演: タルン・クマール パールヴァティ  
1991年/35ミリ/カラー/93分/インド  
日本語・英語字幕付き



2(日) 11:00 / 6(木) 11:00

## 悲哀 Pathos

チャーコーチャンとチューチャンマはゴム農園を持つ老夫婦。二人の一人息子ソニーはアメリカで仕事をしている。ある日ソニーは二人が住む家を売り払い、老人ホームに行くように言う。南インド・ケーララ州を舞台とした物語。映画で描かれる老夫婦の悲惨な状況は決して誇張ではなく、数多くの事例を取材したもの。雨季の時期の暗い雰囲気を利用した画面作りが効果を上げている。

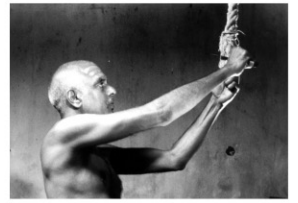


監督: ジャヤラージ  
出演: ヴァーヴァッチャン  
エリヤンマ  
1999年 / 35ミリ / カラー / 76分 / インド  
日本語・英語字幕付き

7(金) 11:00 / 15(土) 11:00

## シャドー・キル Shadow Kill

1940年代。インド南部トラヴァンコール藩の死刑執行人カーリヤッパンは、処刑した男が無実だったのではないかという思いにとられる。そんな時王様から死刑執行の命令が下される。当時のインドでは死刑執行人は王様により身分を保証されており、神に近い存在とされていた。映画は死刑に対する罪の問題と、死刑執行人もまた普通の人間であることを描いている。



監督: アドゥール・ゴバーラクリシュナン  
出演: オドゥヴィル・ウンニクリシュナン  
スクマーリ  
2002年 / 35ミリ / カラー / 90分 / インド  
日本語・英語字幕付き

13(木) 11:00 / 22(土) 14:00

## ひと呼吸 A Breath

7歳の少年パルシュラムは悪性腫瘍のため両目を摘出しなければならなくなる。手術を待つ間みんな彼の不安を取り除く努力をする。ところが病院の事情で手術の日が延期になる。映画の舞台はインド西部の都市ブネー。実話を基にしており、少年のために何ができるかを考えさせる感動作。インド国内映画祭で最優秀作品賞と最優秀子役賞を受賞している。



監督: サンディーブ・サーヴァント  
出演: アルン・ナラヴレー  
アシュウィン・チトゥレー  
2003年 / デジタル / カラー / 107分  
インド / 日本語・英語字幕付き

13(木) 14:00 / 16(日) 14:00

途中5分の休憩あり

## 愛は至高のもの Love is God

悪天候のため飛行機に乗れなかったアンバラスは、やむなくホテルに泊まる。翌日も街は洪水で、アンバラスは同室になったおしゃべりな男ナラシヴァムと一緒に陸路でチェンナイを目指す。悪戦苦闘しながら二人の旅は続く。歌と踊りをふんだんに盛り込んだ南インド・タミル語の娯楽作品。娯楽性に溢れた前半と、社会的なメッセージを持つ後半とでまるで2本の映画を見ている気分になれる大ヒット作。



監督: スンダルC.  
出演: カマルハーサン  
マーダヴァン  
2003年 / 35ミリ / カラー / 155分  
インド / 日本語・英語字幕付き

14(金) 11:00 / 22(土) 11:00

## へだたり At a Distance

70年代の南インド・ケーララ州。作家ニールの母親は裕福な家庭に育ち、ニールと妹のローズにも口うるさく洋風の作法を教える。ローズは足に障がいがあり家に閉じこもりがちだった。テネシー・ウィリアムズの「ガラスの動物園」を翻案した作品。作家ニールが過去を回想する形で進行する。出口のない現実の中で起きる悲劇が端正で繊細な映像で綴られていく。



監督: シャーマブラサード  
出演: フイトヴィラージ  
キートウ・モハーンダース  
2004年 / 35ミリ / カラー / 92分 / インド  
日本語・英語字幕付き

14(金) 14:00 / 23(日・祝) 11:00

## 私はガンディーを殺していない I did not Kill Gandhi

大学教授のウッタムは退職後、認知症の兆候が見れる。ウッタムの症状は次第にひどくなり自分がガンディーを殺したという妄想に取りつかれる。インド独立の父といわれるガンディーは1948年に殺害されている。平和のシンボルでありインドの象徴ともいえるガンディーだが、監督は今ガンディーが忘れられようとしているのではないかという強烈なメッセージを映画に込めている。第一回福岡観客賞を受賞した傑作。



監督: ジャヌ・バルア  
出演: アヌバム・P. ケール  
ウルミラー・マートンドカル  
2005年 / 35ミリ / カラー / 104分  
インド / 日本語・英語字幕付き

16(日) 11:00 / 21(金) 14:00

## 僕はジダン Little Zizou

ムンバイに住む少年ザークスは大のサッカーファン。彼の父親クダーイージーはゾロアスター教の宗教指導者だった。そんなクダーイージーを新聞社のポーマンは批判する。しかしザークスはポーマン家の娘リアナが大好きだった。ペルシャ系インド人パールシーのコミュニティをコミカルに描いた作品。テンポの良い展開と漫画を取り込んだ娯楽作品。



監督: スーニー・ターラブルワラー  
出演: ポーマン・イーラーニー  
ゼノビア・シュロフ  
2007年 / 35ミリ / カラー / 101分  
インド / 日本語・英語字幕付き

19(水) 14:00 / 24(月・休) 14:00

## ようこそサッジャンプルへ Welcome to Sajjanpur

インド中部の村サッジャンプル。小説家志望のマハーデーウは仕事がなく、やむなく手紙の代筆業を始める。多くの人が手紙の代筆に訪れるが、ある日彼が好きだった女性カムラーがやって来る。カムラーはすでに結婚していたが、マハーデーウは何とか二人の仲を裂こうと考える。携帯電話もメールも使えるのに多くの人が字が書けない現代インドの問題がチクリと皮肉られている。軽妙な語り口とコミカルな物語展開が見事な作品。



監督: シャーム・ベネガル  
出演: シュレーヤス・タルパデー  
アムリター・ラーオ  
2008年 / 35ミリ / カラー / 137分  
インド / 日本語・英語字幕付き

20(木) 11:00 / 23(日・祝) 14:00

## カシミールの秋 Autumn

ラフィークはカシミールの分離・独立運動に加わりとうとするが、拒否されてしまう。やむなく新聞配達の仕事しながら父親と暮らすラフィーク。町には軍人が溢れ、時折自爆テロが起きる。ある日テロに遭遇した父親はそれ以来病気になる。パキスタンに接するインドのカシミール地方はテロ組織の活動が活発である。監督は「真のカシミールの姿を伝えたい」と映画化したものである。



監督: アーミル・バシール  
出演: レザ・ナジ  
シャハナワズ・バット  
2010年 / 35ミリ / カラー / 101分  
インド / 日本語・英語字幕付き

20(木) 14:00 / 24(月・休) 11:00

## 妻は、はるか日本に The Japanese Wife

ベンガル州の田舎町。学校の教師スネモホイは、学生時代に雑誌でペンフレンドを求めた日本女性・ミヤゲの記事を読み、彼女と文通を始める。ミヤゲは19歳の女性で二人は3年の文通を続ける。ある日スネモホイに結婚の話が来た事を知ったミヤゲは、まだ会ったこともないスネモホイに結婚を申し込む。イギリス在住の作家クナル・パスの小説の映画化。夢を見るような純粋でプラトニックなラブストーリーである。



監督: アパルナ・セン  
出演: ラーフル・ボース  
高うちぐさ  
2010年 / 35ミリ / カラー / 105分  
インド / 日本語・英語字幕付き



イ ン ド 映 画 特 集	1 土	11:00 大地のうた	14:00 詐欺師
	2 日	11:00 悲哀	14:00 紙の花
	3 月		休館日
	4 火		休映日
	5 水	11:00 モノローグ	14:00 サーカス
	6 木	11:00 悲哀	14:00 神の戯れ
	7 金	11:00 シャドー・キル	14:00 紙の花
	8 土	11:00 サーカス	14:00 神の戯れ
	9 日	11:00 ぼくの家出	14:00 詐欺師
	10 月		休館日
	11 火		休映日
	12 水		14:00 大地のうた
	13 木	11:00 ひと呼吸	14:00 愛は至高のもの
	14 金	11:00 へだたり	14:00 私はガンディーを殺していない
	15 土	11:00 シャドー・キル	14:00 モノローグ
	16 日	11:00 僕はジダン	14:00 愛は至高のもの
	17 月		休館日
	18 火		休映日
	19 水		14:00 ようこそサッジャンプルへ
	20 木	11:00 カシミールの秋	14:00 妻は、はるか日本に
	21 金	11:00 ぼくの家出	14:00 僕はジダン
	22 土	11:00 へだたり	14:00 ひと呼吸
	23 日祝	11:00 私はガンディーを殺していない	14:00 カシミールの秋
	24 月休	11:00 妻は、はるか日本に	14:00 ようこそサッジャンプルへ
	25 火		休館日
	26 水・27 木		休映日
	28 金▶1/4 金		年末年始の休館日

### 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



### アジア映画収蔵資料コレクション展2018

## インド映画ポスター集

映像ホール・シネラ開催の

「インド映画特集」に併せて

図書館で収蔵している

インド映画のポスターを展示。



**展示期間** 2018年12月1日(土)~12月24日(月・休) ※休館日除く

**展示場所** 総合図書館1階 展示ショーケース

**観覧料** 無料

## こんにちはシネラです

福岡アジア美術館

「闇に刻む光 アジアの木版画運動 1930s-2010s」展 協力企画

**日時** 2018年12月9日(日)

**会場** 福岡アジア美術館あじびホール

福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8階  
Tel.092-263-1100(代表)

**観覧料** 各回 **500円(大人)/400円(大学生・高校生)**  
**300円(中学生・小学生)**

### 上映作品

**11:00~ 浄土アニヤン**(韓国)

監督:バク・チャンギョン

2010年/デジタル/モノクロ&カラー/102分/日本語・英語字幕付き

**14:00~ クルドサック**(インドネシア)

監督:ミラ・レスmana、ナン・T・アハナス、リリ・リザ、リザル・マントファニ

1998年/デジタル/カラー/99分/日本語・英語字幕付き

※定員制(120名)。各回入替制。 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
※当該展覧会チケットの半券提示で、観覧料250円で2作品鑑賞できます。  
※障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は1作品250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)  
※「わの会」会員の方は1作品250円。(会員証の提示が必要です。)  
※チケット販売及び開場は上映の30分前。

**主催** 福岡市総合図書館映像資料課 Tel.092-852-0600  
**問い合わせ先** 10時~19時(日・祝日は18時まで) ※図書館休館日は除く

## 映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラでは自主上映(非営利に限る)を希望される方について、下記のとおりに申し込みの受付を行います。

利用申し込み対象期間 2019年6月~2019年11月

※別途配布の申込み用紙に対象日を記載しています。

申込み受付期間/2018年11月25日(日)~2018年12月7日(金) ※休館日を除く

抽選日/2018年12月16日(日)午前11時より

抽選会場/福岡市総合図書館3階 第6研究室

利用申込書/福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出しく下さい。



### 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

#### 【市営地下鉄】

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

#### 【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分  
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター[TEL.0570-00-1010]に直接お問い合わせください。